



# 裁判所インターンシップ (家庭裁判所調査官)

東京家庭裁判所では、令和元年12月5日(木)に裁判所インターンシップ(家庭裁判所調査官)を実施し、68人の方に参加していただきました。たくさんのご参加ありがとうございました。

～インターンシップの内容と参加者の声をご紹介します。～

## 家裁調査官に関する概要説明

インターンシップの目的を確認した上で、家庭裁判所における家裁調査官の役割及び主な業務内容を説明しました。



- ・家裁調査官がどんな仕事なのか理解することができた。
- ・まず最初に概要説明を聞き、理解してその後のインターンに臨むことができた。

## 少年事件調査前の検討

模擬事例を用いて、家裁調査官が面接等始める前に行う準備作業を体験してもらいました。



- ・調査が綿密な計画に基づいて行われることが分かった。
- ・同じ事例を見ているのに、様々な視点から意見が出て面白かった。
- ・もともと少年事件に興味があり、実際の業務に近い経験をさせてもらって勉強になった。

**少年事件  
調査面接体験**

調査の中心となる面接を体験してもらうため、グループで少年役と家裁調査官役になってロールプレイを行っていただきました。

- ・ロールプレイを行うことで、当事者の感情を疑似体験し、問題を身近に感じることができた。
- ・役に入りきってしまい、面白かった。
- ・少年の受け答えひとつにも様々な感情や情報が詰まっており、面接での質問一言で流れが変わるということを実感できた。



**少年事件  
処遇意見の検討**

家裁調査官が調査で把握した情報を踏まえて、少年にどのような処遇をすれば再非行を防いで立ち直らせることができるかをグループで検討していただきました。



- ・他学生との意見交換を通じて、新しい考え方や捉え方を発見できた。
- ・処遇を決める難しさ、グループで考える面白さを実感した。
- ・処遇の種類や、決定の際の悩ましさを知ることができた。





## 家事事件 調査・検討

離婚をめぐる両親の紛争と子どもの様子を描いたDVDを視聴し、子どもの状況や心情を把握するための調査方法について、検討してもらいました。



- ・家事事件については何も知らなかったが、深く知ることができた。
- ・簡潔に家事事件の概要について知ることができた。
- ・グループワークを通して他人の意見を知り、自分の考えを深められた。

## 座談会

最後に、家裁調査官が一人ずつ各グループに入って参加者からの質問・疑問に答えました。

- ・パンフレットには載っていないことを沢山聞くことができた。
- ・和やかな雰囲気での質問することができた。
- ・直接話を聞くことができ、不安を拭えた。



## 職場見学

少年審判廷、児童室及び家裁調査官室を見学してもらいました。

ほかにも、参加した皆さんからたくさんのご好評の声をいただきました！

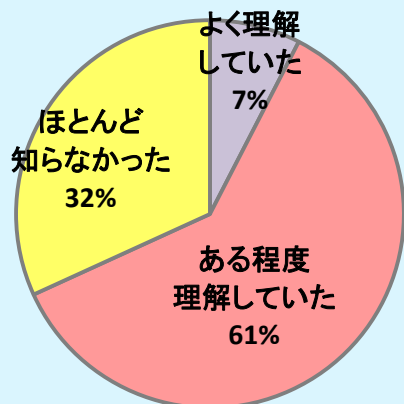
- ・とても勉強になった。家裁調査官が将来の進路の選択肢のひとつになった。
- ・充実した内容で、楽しく参加することができた。
- ・大変おもしろく、難しく、かつ、やりがいいのある仕事だと感じた。
- ・モチベーションを沢山もらったので、勉強を頑張りたいと思った。
- ・改めて家裁調査官として働きたいという気持ちが強くなった。
- ・想像していた以上に実践的な体験をすることができ、本当に身になった。

など

## アンケート結果

### 家裁調査官の仕事についての理解度の変化

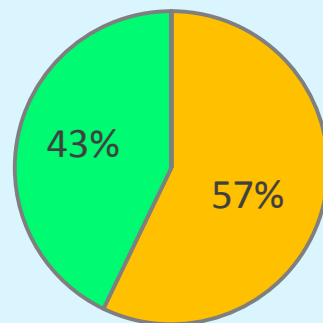
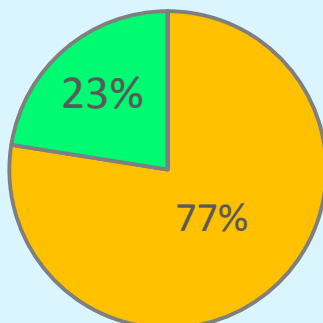
参加前



参加後

ある程度理解していた人

ほとんど知らなかった人



● とても深まった

● ある程度深まった

● あまり深まらなかった

● 深まらなかった

令和2年3月4日(水)及び9日(月)に採用試験説明会を実施します。  
採用試験についての説明や、家裁調査官との交流会も行います。  
詳細は、東京家庭裁判所のホームページをご確認ください😊  
みなさんのご参加をお待ちしております！

【問い合わせ先】

東京家庭裁判所事務局人事課任用係

TEL:03-3502-7108(ダイヤルイン 平日8:30~17:00)